

2-1 リーダー育成・確保に積極的に取り組んでいる組織

しもいた

下板活動組織（神崎市）

- 本地域は、筑後川北岸の佐賀平野東部に位置し、一級河川田手川及び馬場川を有する水田地帯であり、良質な米を生産している。
- 昔から地形的な制約により、水害に悩まされてきた。地域を守るために、農家と非農家が一丸となった活動が特徴的である。
- 水質調査や稲刈り体験など、次世代を担う子供たちへの啓発普及活動などに力をいれており、将来のリーダーや後継者の育成につなげている。

【地区概要】

- ・取組面積 18.3 ha
(田:18.2 ha、畑:0.1 ha)
- ・資源量
開水路:3.5 km、パイプライン:2.8 km、
農道:2.5 km
- ・主な構成員
農業者、非農業者、自治会、婦人会、子供会他
- ・交付金 1,675,704円(H27)

農地維持支払及び資源向上支払(共同)874,624円
資源向上支払(長寿命化) 801,080円

活動開始前の状況、 取組を開始する経緯

- 全戸40軒のうち、農家は8軒の混住地域である。田手川と馬場川が交差する地形により少量の雨でも洪水が起きる地理条件であり、水路も多い。農業者でなくても水路の水草上げをしなければ、直接被害があるので、必然的に活動をするようになった。
- 取組前は旧千代田町より年間20万程の補助金で活動をしていたが、多面的機能支払事業のおかげで、活動の幅が広がり、水路の整備が進み、水害が減った。



主な取組内容

- 草刈り・泥上げ(4月・8月)
農業者を中心に全戸で行っている。
- 水草上げ(6月・9月)
自治会を中心に全戸で行っている。
- 水質検査(8月・9月)
子供会で行う年に2回の水質検査。
H19年より継続しており、将来を担う子供達への啓発普及の一環である。
- 清掃活動、花壇への植栽
老人会を中心に行っている。

地域ぐるみの活動が特徴で、30~40代の人達も積極的に活動することで、次世代のリーダーを確保している。



(子供クラブによる水質調査)

(稲刈り体験)

取組の効果や現状、 今後について

- 住民の入れ替わりがない小さな集落であり、水害常襲地域である為、地域の結びつきが強く、子供の頃から地域を守っていくことを当たり前と思って育ってきたので、活動を行うことに疑問を持たない人が多い。
- 子供会で行う水質検査や稲刈り体験などで農業との関わりを深めている。
- 土地を離れる人が少ないので、後継世代も順次おり、高齢化への不安がない。
- 書記(30代)が若手をまとめており、事務的な作業で役員のサポートをしている。

